

目的・背景

東広島市は広島大学を始めとして4つの大学が立地し約17,000人の学生、約1,800人の留学生が生活している。学生の多くは卒業時に市外へ転出するとともに、地域社会における学生活動も限定的で、学生の力を市政に活かされていない状況であり、また、留学生は言語の壁から生活で不便が生じている。そのため、広島大学生が日常的に利用する「TGOアプリ」を開発し学生等の生活や活動を支援するサービスを実装することで、学生と地域社会の関係性を強化し、学生の地元定着・地域活動促進を図る。

提案概要

データ基盤機能環境：東広島市・広島大学・コンソーシアム参加企業を中心とする産学官の多様なデータや公的個人認証を連携し、オープンな利活用を目指す**共通データ基盤環境**の開発・提供（TGOアプリサービス）：利便性の向上や暮らしを豊かにする機能を具備し、**広島大学生をはじめとする東広島市民が日常で使うアプリ基盤**の開発。

（パーソナライズドInfoパネル）：学生生活や地域活動の支援のため**ユーザー属性・趣向に合わせた情報提供とコミュニティ形成を支援するアプリサービス**の開発・提供

（YOUTH FOR 東広島）：学生・市民の意見発信・市政参加意識向上に繋がる**デジタル合意形成アプリサービス**の開発・提供

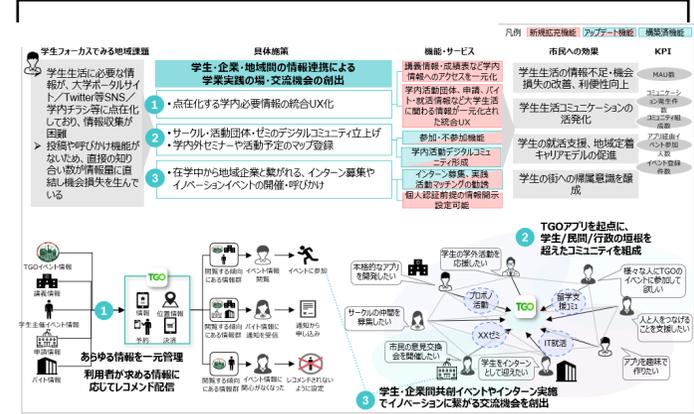
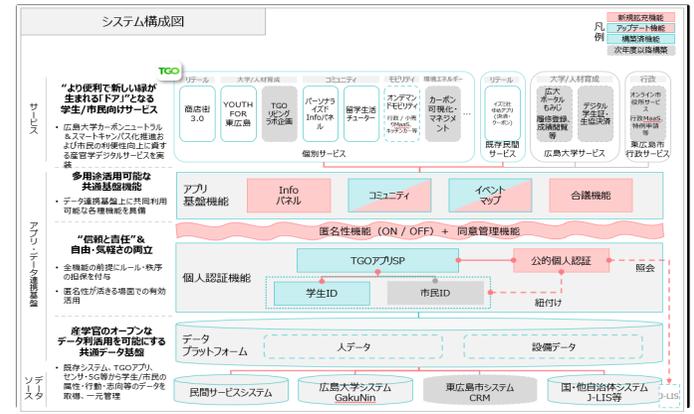
今後の展望

「TGOアプリ」の機能拡充を進め、東広島市が構築済の「市民ポータルサイト」からTGOアプリへのお知らせ配信開始（2025年8月目標）など、広島大学と東広島市の一体的な取組を進め、大学生の生活や活動支援に加え、市民の生活や活動支援のサービス実装を進めていくことで、地域で広く活用される「スーパーローカルアプリ」を目指す。

費用・活用補助金等

「広島大学スマートシティ共創コンソーシアム」の活動資金に加え「デジタル田園都市国家構想交付金（TYPE 2）」を活用。

Table with 2 columns: 実施主体 (広島大学), 実施場所 (東広島市), 活用技術 (ICT), 支援事業 (デジタル田園都市国家構想交付金 (TYPE 2) 他), 区分 (教育・子育て、スマートシティ・IoT基盤), HP掲載年月日 (令和7年2月28日)



# システム構成図

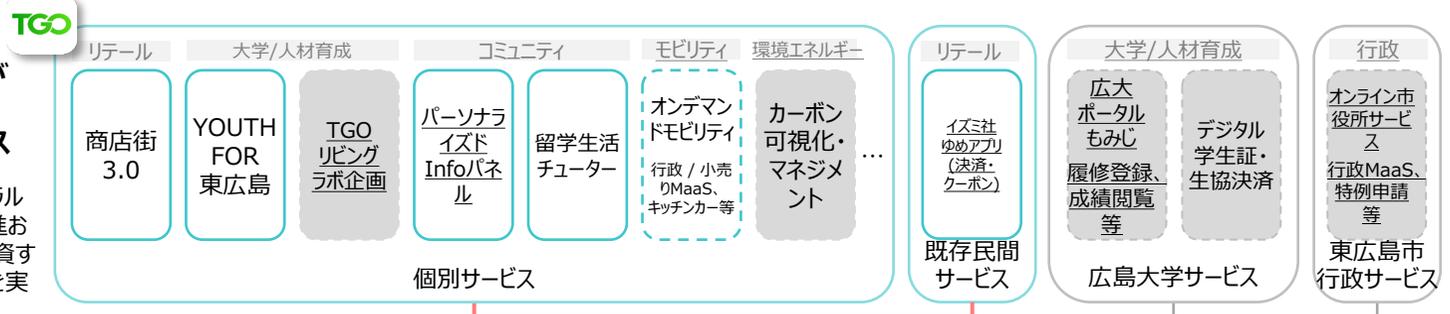
凡例

- 新規拡充機能
- アップデート機能
- 構築済機能
- 次年度以降構築

サービス

## “より便利で新しい縁が生まれる「ドア」”となる学生/市民向けサービス

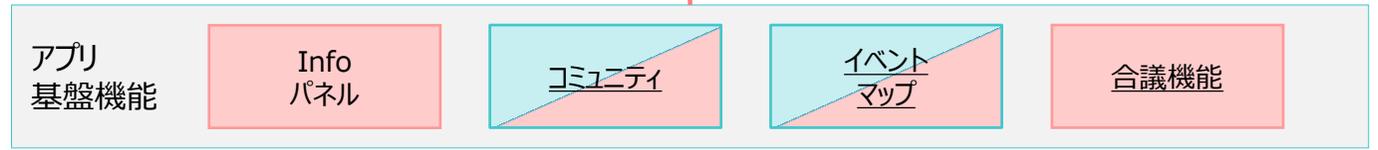
- 広島大学カーボンニュートラル & スマートキャンパス化推進および市民の利便性向上に資する産官学デジタルサービスを実装



アプリ・データ連携基盤

## 多用途活用可能な共通基盤機能

- データ連携基盤上に共同利用可能な各種機能を具備



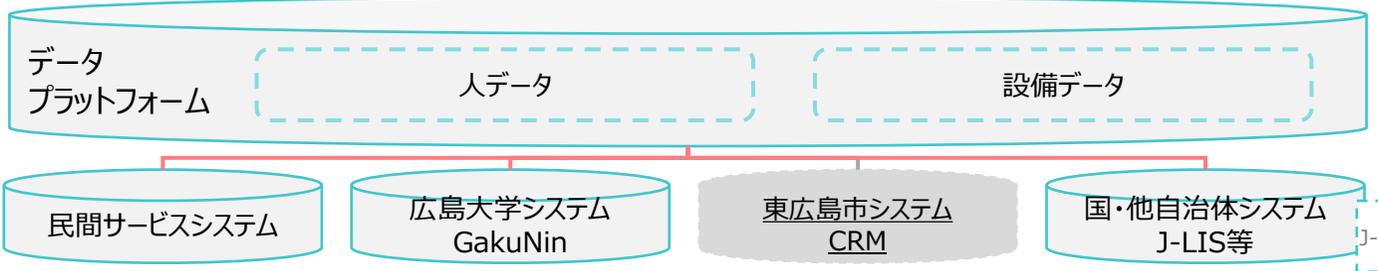
## “信頼と責任”& 自由・気軽さの両立

- 全機能の前提にルール・秩序の担保を付与
- 匿名性が活きる場面での有効活用



## 産学官のオープンなデータ利活用を可能にする共通データ基盤

- 既存システム、TGOアプリ、センサ・5G等から学生/市民の属性・行動・志向等のデータを取得、一元管理



ソースデータ

サービス内容

凡例 新規拡充機能 アップデート機能 構築済機能

